

## 加茂地区 市政懇談会

日時 平成 19年 7月 20日 19時 30分から

会場 加茂地区センター

参加者数 41人

### 懇談 (質疑応答)

三軒家 男性

農協の加茂支所が来年度には新しいところ引越しをされるとの話を聞いていますが、地区センターの利用に伴って、多分、今夜も農協の広場へ止めてあると思います。出来れば市の方で買っていただくか、買えないならば農協の方から市が借りていただいて、加茂自治会に貸していただくなどを考えていただきたい。

二つ目は6月25日に、市長のところに加茂幼稚園の署名を集めたものを届けましたが、この席にも多分署名をされた方がおられると思いますので、幼稚園の今後をどのような考えで取組まれていくのか、進捗状況等を教えて下さい。

三つ目は、6月25日に行政改革推進懇話会が開かれ、次の日の新聞に1億1千万円の削減効果があったと。気になったのは、補助金というものがあり、市長が言われたとおり、ホームページから引っ張り出して見たら、10億円位の補助金が出ているようですね。そのなかで18年度で削減されたのが1,117万円。私なんかの考えでは、もっと削減できるのではないかと思いますので、長い時間をかけずに、しっかり分別してはつきりやって欲しい。

市の借金を先程市長が、210億円から190億円にしたいとのことだが、集中改革プランの報告書には平成19年度に206億円位にしたいと出ている。210億円と言いますが、平成18年度が207億8千万円、一人あたりにすると約4万1千8百円、一軒あたり、3.11人だそうですから124万円位の借金を一軒でしている。公債比率が18.8%になっているので、それを適正化したいと書いてありますが、いくらにしたいのか。テレビで見たら19%なら、あぶない自治体と聞いたような気がしますが、それがどんなふうになるかということ。

それから、改革を地域との協働による市民満足度の高い、市政運営をやっていくんだとの目標をかかげていますが、今年の5月から下水と水道を一元化するということで、お金の方も水道も2ヶ月に1回、下水も2ヶ月に1回だったのが、両方まとめてちょうだいよ、ということになったわけですが、量を使うので2つまとめると高くなる。市民にかなりの迷惑をかけていると私は思っています。そのことで都市計画課から返事をもらったところ、こういう返事をもらいました。先ほども言いましたとおり、地域との協働による市民満足度の高い市政運営をやっていくと書いてあり、最後に「市民の皆さま

んにも痛みがあると十分認識しておるところであります。」とありこれはどういうことかと思う。満足度の必要な市政を行うのであれば、改革するにも他のところにお金が削減できるところがたくさんあるのではないかと思いますので、そのところをお願いします。

市長

まず、前の駐車場の件ですが、皆さんの気持ちは良くわかりまして、JAさんとはここだけでなく、横地とか潮海寺とか西方とか色々なところから要望をいただいております。そのなかで市とJAで話をし、どういった有効利用をしていくか、加茂がどうかということではなく、相対的に協議をさせていただいております。加茂地区からは、学校の駐車場が少ないとか、地区センターの駐車場が少ないとかで、貴重な南部第二の土地を買わせていただきましたので、その辺は少しご理解をいただきたいと思っております。区画整理事業の保留地を買わせていただきました。JAの土地については、市としてどのような計画をたててやっていくか、地域の皆さんにもお話をさせていただきたいと思っております。

幼稚園についてはお話をさせていただいたとおり計画書を、今年度中にきちっと作りたいと思っております。特に加茂幼稚園、内田保育園は公立の幼稚園、保育園では一番古い、私立ではもっと古いのがありますが、そこは耐震を優先的にやっています。今優先的に加茂幼稚園、内田保育園については、先ほど申しました計画を、今年度位にきちっと作って、そして、地域の皆さんにも相談させてもらって、やっていきたいと思っております。毎回こちらに来ましてすっきりしたお答えができませんが、今、きちっとした計画を作って、それが出来ましたら地域の皆さんに、相談させていただきたいと思っております。

懇話会での補助金であります。補助金といっても色々ありまして、地域でこういう事業をやりたいから補助金が欲しいという補助金から、畑総事業とかほ場整備とか、借金をして市として債務負担といいますが、将来20年なら20年間で畑総事業に払っていきましようというときに、何千万円、何億円と大きな金額になるものですから、黒田さんの言われるように補助金と違うかもしれませんが、一般市民の皆さん、あるいは国とか県の制度の中にあるものですから、その辺は分析してまた話をさせていただきますが、一般的に言う補助金につきましては123本位ありまして、10本位を見直しさせていただきまして、評価システムのなかで見直していきたいと思っております。そのなかでやりますと、どうしても市民の皆さんに、痛みを感じてしまう小さな額の補助金もありますので、そういうものには細心の注意を払いながらやってまいります。当然、貴重なお金ですから、一つの制度にのってやっていかななくてはと思っております。

次に公債費比率ですが、先ほど200億余あると言いました。18.8%という公債

費比率の話も出しました。今のままで行きますと平成23年がピークになります。堅実的な予算規模を作っている、今のままでいっても借金がありますから23年には20.3%になります。そこをピークにしてそれから減らしていきます。そのためには、ただ見ていると減りませんから、借金を減らすための基金を積んで、3年後、4年後、5年後に数億円を返済して硬直を減らし、平成27年頃には公債費比率を17%台に持っていきたいと思っています。これは至難の業といいますが、伸びつづけている借金を減らすことは大変なことですが、今、私達がやらなければならないことだと思います。一つには財政力、自主財源、菊川市における皆さんからの税金とかが、113市の中で5番目か6番目ですので、それをうまくコントロールすれば、計画どおりにいけるのかと考えております。

次に徴収の水道と下水の話ですが、一度に請求させてもらいまして、皆さんが一度にお支払しなくてはいけないということで、ご無理をかけたと思います。その一方で、水道会計と下水道会計の徴収体制を一つに、それは行財政改革と言う狙いがあったわけですが。そのような声が強ければ、市民の皆さんと話をし、どのような形が一番負担にならないのかということを考えていきます。

署名いただきましたこと、皆さんのご苦勞に感謝いたします。署名につきましては、真摯に受け止め、取組んでまいります。

西袋 男性

バイパスは結構ですが、ここにきて信号機が2つばかりあって渋滞、その対策はどう考えていますか。

病院は多分赤字だと思いますが、年間どのくらいの赤字か、それについてはどう考えているか。

市長

私もこんなにこんなにお店が出来るとは思いませんでした。こんなに渋滞するとも思いませんでした。公安委員会等と話をしまして、事故の無い交通体系になるよう話をしていきたいと思っています。地区の皆さんに、ご理解をいただき事故のおこらない道路整備をしていきたいと思っています。信号につきましては警察の方にも、地元の皆さんから声が出たと話をさせていただきます。

病院の赤字がどの位あるかとの話ですが、赤字は確かにあります。一昨年は確か、経営的なものはプラスマイナス、ゼロだったと思いますが、昨年あたりは3,200万円、今年はもう少し出ると。なぜ出るかと言いますと、医療制度改革で診療点数が毎年のように変わります。それを後追いのようにやっているわけで、来年度はこうなりますよと事前にはありますが、数ヶ月前に医療制度は来ますので、どうしても医療報酬という点数が減ると言うことであります。赤字が決して良いと言うわけではありませんが、近隣の病院の経営状況を見ていれば、院長を中心に職員ががんばってくれてい

と思います。これから、さらに医師、看護師、職員が力を出して、赤字にならないようにがんばっていただくよう 院長に話をしたいと思います。

西袋 男性 (再質問)

病院の累積赤字は。

市長

12億ほどあります。病院会計は、企業会計でありまして、2つの会計、3条、4条会計とありまして、累積は12億円ありますが、市からも自治体病院ですから、それに対する支援は、法律的に出来ますので、そういった形で出すことによりましては、赤字を減らすことが、累積の方ですが、出来ます。経営的な、一般企業で言う赤字は、今、12億円ほどあります。

西袋 男性 (再質問)

バイパスの件ですが、インターから直接バイパスに入れるとか、そうしないとせっかくのバイパスが、値打ちが下がってしまう。例えば、インターから出てきて、信号機が2,3つあって、バイパスに出るよですね。そういう計画にしてもらいたい。バイパスの効果が出るのではないかな。

市長

インターチェンジを逆にすることですか。

西袋 男性 (再質問)

計画する時に渋滞することは分っていることですから、計画の段階から。

市長

南の方から来る方が使いやすい、インターを降りた方が使いやすいようなことを考えていきます。

小川端 男性

市長さんからコミュニティの話が出ましたが、この菊川市では自治会組織がしっかりしておりまして、皆さんにお話すると、いまさらどうしてコミュニティ協議会を作らなければならないのかとの意見も出ています。その辺についてお話下さい。

市長

コミュニティは、合併した時のコミュニティを核としたまちづくり、地域づくり、人づくりをしようということで、合併の一つの目玉だったわけです。それはこれからの地域づくりは、行政主導ではなくて地域の皆さんがやっていただきたい、それに行政と一体となって、これから地域づくりをしましょうと言う大きな目標があります。旧菊川町では連合自治会があり、既にコミュニティによる自治会組織が出来ているというところがありますし、例えば地区センターの無いところ、そういった組織が出来ていないところでは温度差があります。私は、これがコミュニティ協議会の仕事で、これが自治会の仕事だと色分けするのではなく、自治会のなかで、自治会として、これからのコミュニ

ティ協議会、コミュニティによるまちづくりをどのようにしていったらいいんだろうと、時間をかけてやっていただければ良いと思います。決して行政がこういうふうを作って下さいよとか、こういうものにして下さいとか、いうものではありませんし、自治会の皆さんで、これからのコミュニティによるまちづくり、地域づくりというものは、どのようにしていったら良いか、その中で、市としてどういった支援をすべきかを、言っていただければ、一つの方向が出てくると思います。旧菊川町のなかにおいても、連合自治会のやり方は全部違いますので、それを一緒にしようなどとは、私は考えていませんし、加茂地区には加茂地区の良い所がありますし、内田にも、西方にも、横地にも、どこにも良いやりかたがありますので、それは生かしながらこれから地域づくりをしていただければ、それがコミュニティのまちづくりになると思います。

三軒家 男性

市長さんからの、安定した税収確保に向けての庁内経済組織部門強化の話がちょっと具体的にわからなかったが、どういう方法で組織強化を図り、どういった取り組みをやるのか、それをお伺いしたい。

市長

まず一つは、組織力のアップを考えました。市役所のなか、行政レベルのトップは部長になりますが、部長の下は課長ですが、建設経済部に、企業立地、企業誘致のために参事をおきました。その参事は県からの派遣で県の職員が来ています。それは県からの企業の情報が、県は早く入ってきますので、その情報を入手するということ。色々なノウハウと、経済部門の充実を図るということで人的な増。組織的な充実を図って、今年度と来年度は経済・産業に対して、外部からの話があった時にタイムリーに応えられ、また色々な制度の活用と言うものを生かすというような形で考えており、それが組織、人的な充実と言うことであります。

三軒家 男性 (再質問)

財政力の関係で、良いという説明を受けたわけですが、図書館で18年度の財政の県からの資料を見ますと、財政力指数は菊川市は0.761という数字を見ましたが、同じ規模のところを見ると良いといわれましたが、同じ規模のところはもっと悪いということですか。

市長

113市は全国で、菊川市は5番目です。同規模には、静岡県では御前崎市と湖西市が入っています。全国で湖西市が一番、二番が御前崎市です。なぜかといいますと、御前崎市は原子力発電所の税金がたくさん入ってくる、湖西はスズキやトヨタの関係の税収が入ってくるものですから。0.76と言うのはまだまだ御前崎、湖西に比べれば低いですが、全国的に見れば、人口5万人規模のなかでは、順位的には良いです。しかし、1というのがベースですから、1になれば不交付団体といって、1が

普通の1人前と申しますか、ほとんどの市が国からの交付金で運営していますので、まだ独り立ち出来ていないと言えます。113のなかで見れば良い、けれども0.76は御前崎さんみたいに 税収がたくさん入ってくるほど良いというわけではありませんので、その辺は誤解のないように。限られた財源をきちっとやっていこうということですので、ご協力をお願いします。参考までに財政力指数は、菊川は0.76、113の平均は0.44、低いところは0.23、高いところが1.21です。これを見れば良いですが、決して安心できる財政力ではありません。

三軒家 男性

さきほど、コミュニティ協議会の話があったわけですが、改革の中でもけっこうやっちゃんよとの感じのなかで進んでいますよね。市長がさっき言われたとおり、それぞれの地区で、菊川地区、元菊川町は自治会があったから関係ないよと言うならいいんですが、何か見ていくと、コミュニティをホームページから引っ張り出して見ると、コミュニティ協議会も会長、副会長、会計と書いてあります。こういうふうに決まったよ、だから加茂地区もこれにならいいよ。自治会長もあって、また、他に会長だったり副会長を作るんだったら意味が無いと思います。やるんだったら、自治会のなかに。実際、加茂地区なんかは、運動会をやるには、7地区の自治会の中の1人が、地区の会長、副会長を外して、他の5人で体育大会とか、文化祭とかそういうものを役割を分担して決めています。何も新たにコミュニティ活動、協議会だのと、こういう組織が出来たから、これに従えよとやる必要もないし、そういう組織にはお金が絶対に動くと思う。財政難、財政難というならば、余分なお金を使わない方がいいと思いますが。今、市長が言うには、良いですよ、別に考えなくてもと言われるなら、こういう計画はやめちゃったらいいんじゃないかと思いますが、どうでしょうか。

市長

いま、組織ができていると言われましたが、イメージ的なものが、広報に載っていると言われまして、申し訳ありません。あくまでもコミュニティ協議会というものは地域のみなさんの思いで、作っていただければ良いというのが、私の基本的な考えです。ですから、こういうふうに作って下さいよとか、いつまでにこういうふうにやって下さいよといったことは考えていないつもりです。加茂地区としてこういう形でやっていくということは、それで結構ですが、ただ、これから市として、こういう形でこれから一緒にやっていきたいとか、こういう制度を取り入れていきたいとかということが、これからよその地区から出てくる場合もありますから、その時には、自治会のなかで、コミュニティに対する考え方とかやり方は、理解していただければ良いと思います。今、やめちゃえば良いと言われても、既に他でやっているところもありますので、コミュニティ制度を廃止しますということではなく、時間を掛けてもコミュニティ協議会を核とした組織と言うものを、それぞれの地域で考えてやっていただければいいなと思ってお

ります。

白岩東 男性

17日に新潟で地震がありました。新聞、テレビで避難所が開設されると、その運営に相当苦勞されていると報道されています。東海地震が来るとか言われていましたが、それより先に新潟の方であり、私の住んでいる静岡県、菊川市ではどうなるか、非常に心配になります。加茂地区は25日に加茂小学校が避難所ということで、やっと避難所開設の委員会を立ち上げようとの初歩の段階、西中につきましては、加茂地区で白岩東だけが、六郷の五丁目とか下本所とかと一緒にあって、5つの地区が集まって、西中の避難所開設運営ということで、加茂地区のメインのところよりは進んだ形になっておりまして、地域によってかなりの格差があります。他のところでもそうではないかと思しますので、時間も無いわけですけど、菊川市にとって対岸の何とかとということではなく、関係のある問題だと思しますので、財政難でしょうけれど、方向性だけは、皆さんにはっきりお示し願いたいと思います。

自治会の防災隊長とかがたずさわるわけですが、実際の住民が・・・有することはわかりますが、自分達の住んでいる自主防災が、どういう形で避難するとか、避難所に行ったらどういようなことになるのかといった、マニュアルはたしかにあります、一般に降ろされていません。至急そういったことをやるべきではないかと思します。

市長

中越沖の地震がありまして、それを私どもの教訓にしなければいけないものですが、帰りまして安全課に自主防に対して、もう一度確認するように指示いたします。